



# 竹林の風

栃木県教育委員会事務局  
河内教育事務所  
平成 30年 7月 9日  
発行責任者 山口 弘倫  
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp>

## —不易— 河内教育事務所長 山口 弘倫

今年度、河内教育事務所長として赴任いたしました山口です。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度から早3か月が経ちました。新学期当初の慌たしさも落ち着き、充実した教育活動が行われているところではないでしょうか。また、新学習指導要領への移行に係る諸準備や働き方改革への対応等々、各学校や市町教育委員会での取組に紙上をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、昨年度まで学校現場でお世話になり、先生方の週案を拝見させていただいておりましたが、とても心に残るコメントがありましたのでご紹介したいと思います。



夏野菜の栽培を終わりにしました。ピーマンやしし唐、茄子はまだまだ収穫が望めそうでしたが、台風が来る前に片付けました。2年生の生活科で購入した野菜の苗でしたが、思いのほか丈夫に育ってくれました。やはり、子供たちの鉢植え栽培よりも地植え栽培のほうがよく育ちました。土が大切なことが分かりました。また、支柱に縛り付けるとトマトの枝は風で縛ったところから折れてしまうことが分かりました。枝が伸びたい方向にもたれかかるように、決して縛らずに支柱を用意してあげればよいことが分かりました。なんだか、子育てや教育にも当てはまりそうだなと思いました。

このコメントを拝見し、私の脳裏に浮かんできた言葉があります。それが「我以外皆我師也」です。この言葉は小説家の故吉川英治さんが生み出した言葉で、小説の中でもプライベートでも好んでお使いになった言葉です。吉川さんは、尋常高等小学校を中退。いくつもの職業を転々としながら、独学で学んできた自らの経験から「自分以外の人でも物でも自然でも皆、自分に何かを教えてくれる先生だ」と思われたそうです。この週案のコメントは、まさしく植物の育ちや育て方から教育の在り方について学び取っているのではないのでしょうか。

学校教育には「不易」と「流行」があるとよく言われますが、この先生の考えや思いは、教育に携わる者にとっての考え方として不易の部分なのではないかと考えます。このような考えで取り組んでいただける先生と一緒に働くことができたことに感謝しています。

結びに、河内教育事務所では、平成20年度より、管内の学校、諸団体の特色ある取組・活動の紹介や、最新情報の提供など、広く情報を発信する目的で、広報紙「竹林（ちくりん）の風」を発行しております。

本年度も、創造的で特色ある学校づくりの一助となるよう情報発信に努めてまいります。本紙が広く教職員の皆様の目にふれ、活用されることを期待し、巻頭のあいさつといたします。

## 平成30年度 安全教育指導者研修会が行われました。

今、学校には、児童生徒自身の安全に対する意識を高め、安全な生活のための知恵と行動力を身につけさせる「安全教育」の充実、児童生徒の命を預かっているという自覚を再認識した学校の「安全管理」の徹底が求められています。特に、登下校中においては多くの事故や事件などが発生しており、学校と地域がこれまで以上に連携して児童生徒の安全を守る体制の構築が急務となっています。

栃木県教育委員会では、学校教育全般における安全確保をより確実にするため、学校安全課を新設し、学校安全・危機管理に関する組織体制の強化や教員研修の充実に取り組んでいます。

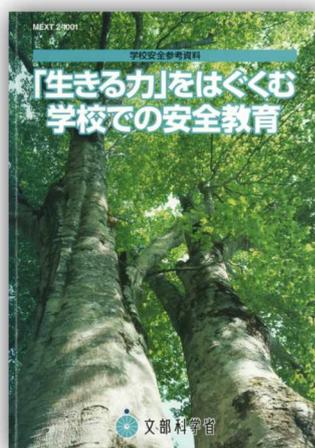
4月19日（木）には、栃木県総合教育センターにおきまして、県内すべての小中学校及び義務教育学校の教頭先生または学校安全担当教員を対象に、安全教育指導者研修会を開催しました。

前半では、学校安全課の担当者より、学校安全計画の策定について説明がありました。

後半は、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課、安全教育調査官の吉門直子氏による講話が行われました。「安全管理・安全教育の徹底・充実について」と題し、平成30年3月に各学校に配付された「学校危機管理マニュアル作成の手引」

（文部科学省）などを交えて、学校安全の考え方と現状、学校事故対応に関する指針、今後の学校安全の推進等について説明がありました。

学校は、第一に安全安心な場所でなければなりません。生活安全、交通安全、災害安全の全領域におきまして、全職員や家庭、地域の共通理解のもと、学校や地域の実態にあった学校安全計画の充実を図っていただければと思います。



## 児童・生徒指導の充実を支援いたします！～SS、SSWの紹介～

河内教育事務所には「いじめ・不登校等対策チーム」として「スクールサポーター（SS）」が2名、「スクールソーシャルワーカー（SSW）」が1名在籍しております。児童・生徒指導に関する課題の解決や子どもの置かれた環境の改善に向け、学校訪問や家庭訪問、電話相談等により学校をサポートします。中学校教員、高等学校教員、医療ソーシャルワーカーとしての経験豊富な先生方がチームとなり、関係機関との連携も視野に学校支援を行いますので、お気軽にご相談ください。（連絡先：028-626-3184）



- 所属スクールサポーター  
入内澤 賢（いりうちざわ さとし） 元上三川町立明治中学校長  
猪俣 健（いのまた たけし） 元県立黒羽高等学校長
- 所属スクールソーシャルワーカー  
和久 知恵子（わく ちえこ） 社会福祉士・精神保健福祉士  
元医療ソーシャルワーカー